

大学受験シーズンスタート！

1月もあつと言う間にもう下旬。3学期が3分の1終わろうとしています。

これから大学入試にチャレンジする3年生の皆さんは、いよいよ本番に向けて緊張しながら頑張っていることと思います。1月13日(土)・14日(日)には、この冬一番の寒波の中、大学入試センター試験がおこなわれました。本校からは10人の皆さんが受験しました。慣れない環境で大変だったと思いますが、「風林火山」の気概できっとベストを尽くせたことと思います。例え満足な結果が出せなかったとしても、落ち込む必要はありません。2次試験に向けてここからまた頑張ればよいのです。



私立大の受験も始まります。これまで暑い夏も寒い冬も精一杯頑張ってきた成果を十分にさせるよう、風邪などに気をつけて最後の準備をしてください。

進路が決まってほっとしている3年生の皆さんは、これから受験する仲間を是非応援してあげてください。皆さんの励ましが、きっと受験生の皆さんの大きな心の支えになるはずです！

対外模試の“あと”を大切にしよう

1月20日(土)・21日(日)は、普通科1・2年生の対外模試がおこなわれました。今年最初の対外模試、全力で取り組みましたか。

せっかく受けた模試、受けっ放しじゃもったいない！自分のために徹底的に“利用”し尽くしましょう。模試の“あと”すべきことについてのアドバイスです。

1. 3段階の問題仕分けで、苦手分野をあぶり出す！

●受験後は、まだ記憶が新しいうちに自己採点して、どの分野の苦手を克服すべきか確認する。

●自己採点の時に大切なのは、「できた問題・悩んだ問題・全くできなかった問題」に仕分けすること。仕分けることによって苦手な分野が見えてきて、効率的な復習ができるようになる。

2. さらなる仕分けで、真の苦手を突き止める！

●模試の復習は遅くとも、模試が終わってから1週間以内に実施する。問題が記憶に残っているうちに復習することで、自分がどこでつまづいたのか、どこまで

理解できていたのか、という振り返りをしながら復習することができるので、定着度が高まる。

●「悩んだ問題」「全くできなかった問題」をさらに「ケアレスミス・公式や文法などの知識不足・解答作成時の減点」に仕分け、復習する。

3. 個人成績が返ってきたら見直すべきこと

●返却された答案と個人成績表を確認するときには注意するのは「順位や偏差値に一喜一憂しない」こと。自分専用の分析やメッセージを読んで、どこを直すべきか、復習の際に見落としていた観点はないか、を確認する。

●模試から1か月たったタイミングで、もう一度問題復習してみる。(Benesse マナビジョンより)



「君たちはどう生きるか」

これは、今から約80年前、吉野源三郎氏が子どもたちに向けて書いた本のタイトルです。今、この本が漫画化され、たった5か月で120万部以上売れており、特に若者の間で話題になっています。戦争や貧困、暗いニュースの多い先の見えない世の中で、みんな自分の現在や将来に不安を抱え、悩んでいるのでしょうか。



この本には「こう生きるべきだ」という答えはありませんが、読者からは「考えるきっかけをもらった」「悩むことは大切なことなんだとわかった」などの感想が寄せられています。

進路を考えることは、自分の生き方を考えることです。「どの学校に行きたいか」だけでなく「自分は人間としてどう生きたいか・生きるべきか」など、その先の自分の生き方を見据えながら、進路を考えてみてはどうでしょうか。

〔今後の進路行事〕

- 1月27日(土) 土曜講座⑪
- 2月 1日(木)～ 3年進路決定者自宅学習開始
- 2月 3日(土)・4日(日) 2年進研マーク模試
- 2月10日(土) 土曜講座⑫
- 2月19日(月)～22日(木) 学年末考査
- 2月24日(土) 土曜講座⑬